



ながーい自然薯楽しみに



大 石田南小学校の6年生児童14名が5月29日（火）に自然薯の植え付けを体験しました。これは大石田町新作物開発研究会（海藤明会長）の協力で毎年行われているものです。体験は学校脇の畑で行われ、研究会のメンバーのほかウィルスフリーの苗を研究会に提供している村山産業高校農業部の生徒8人も参加し、児童らに植え付けを指導しました。

学校では秋に収穫体験を行い、自然薯料理を児童が調理して楽しむ収穫イベントを行う予定です。

泥だらけになって田植え体験

町 内3つの小学校の5年生の児童が手植えによる田植えを体験しました。

大石田北小では5月22日（火）にJAみちのく村山青年部（小内正美大石田地区委員長）の協力で、部員の星川祐一さんが管理する水田で「はえぬき」の苗植えを行いました。

大石田小では5月26日（土）に小林征雄さんの水田で「つや姫」の苗植えが学年行事として行われ、保護者も参加して親子で田植えを楽しみました。

大石田南小では5月31日（木）に、農地・水・環境保全組織田沢部会（森秀雄会長）の協力で、指導する小内英徳さんの水田に「つや姫」の苗を植えました。



大石田北小学校

子育てのイライラ吹き飛ばそう

横 浜市の保育施設の代表で、NHK・Eテレ「すくすく子育て」に出演している柴田愛子さんによる講演会が6月10日（日）に虹のプラザ中会議室で開催されました。この講演会は子育てサークル・小さなおもちゃばこの会（吾妻満代表）が主催したもので、「子育てはどうしてイライラするのか？」をテーマに、子育て中に感じるイライラの正体や、どのように子どもと向き合うべきかなどを、柴田さんが運営する保育所で起きたエピソードを交えながら、参加した子育て中の保護者や保育関係者など約80人に対して優しくアドバイスしていました。



児童たちは初めて入る田んぼの感触に戸惑いながら、泥だらけになって苗を植えつけていました。各小学校では秋に稲刈りを行い、収穫した米を味わうことにしています。



大石田南小学校



大石田小学校

駒籠橋跡調査の成果を報告



古 代の水駅「野後駅」の可能性のある駒籠橋跡の発掘調査報告会が5月20日（日）に虹のプラザ中会議室で行われ、これまでの調査で明らかになったことや今後の調査で期待される成果など、専門家による報告が行われました。

報告会では、調査に携わった山形県埋蔵文化財センター調査員の阿部明彦さんによる報告と、東北学院大学教授の永田英明さんによる基調講演が行われ、調査により中世の駒籠橋跡と野後駅が別の遺構であることが考古学的に証明されたこと等の成果や、野後駅が馬のほかに船を配備した珍しい駅と考えられていることなどが説明されました。これまでの調査結果をまとめた「駒籠橋跡発掘調査報告書」は町立図書館で閲覧することができます。

にじっこひろばで歯みがき講座

子 育て世代活動支援センター「にじっこひろば」で6月4日（月）に歯科医による実演を交えた育児講座「歯みがきしゅっしゅっ」が行われました。これは6月4日から10日の「歯と口の健康週間」にあわせて開催されたもので、神部歯科医院の神部薫さんの指導により約20人の親子が、む（6）し（4）ば予防のための歯みがきのコツなどを学びました。

講座では模型を使った磨き残しの多いポイントの説明や「仕上げ磨き」の実演を交えて、子どもに嫌がられずに磨くコツなどを伝授していました。仕上げ磨きは苦手な子どもが多いこともあり、保護者らは熱心に説明に耳を傾けていました。

